

# ごみ減量チャレンジ!

## みんなで作ろう、きれいなまち盛岡

ニューヨーク・タイムズ紙で紹介されるなど、世界から注目されている盛岡。将来にわたって魅力的で暮らしやすいまちであり続けるためには、ごみの減量など環境に優しい行動も大切です。「ごみ」と

は資源を分けて、残ったもの。この機会にごみ減量を「じぶんごと」として意識し、何が出来るか考えてみませんか。

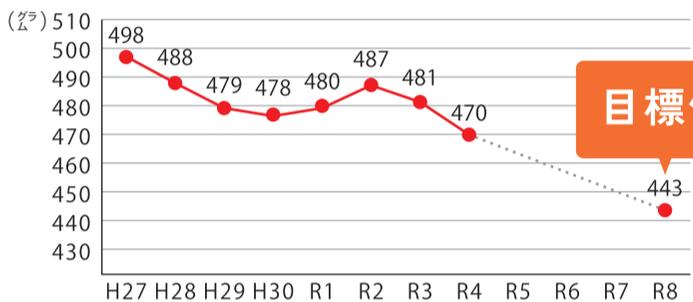
【問】資源循環推進課 ☎626-3716

### 盛岡市ごみ減量化行動計画

目標

令和8年度までにごみの排出量を  
1人1日あたり**443**グラムにする

令和4年度資源・ごみ排出量等の状況について  
1人1日あたりの家庭ごみ排出量(資源を除く)



目標値

目標まであと  
**27**グラム  
1人1日あたり  
の減量が必要です。

身近なもので例えると  
**ピーマン**  
約1個分の重さ!

### 「ごみ」とは資源を分けて、残ったもの

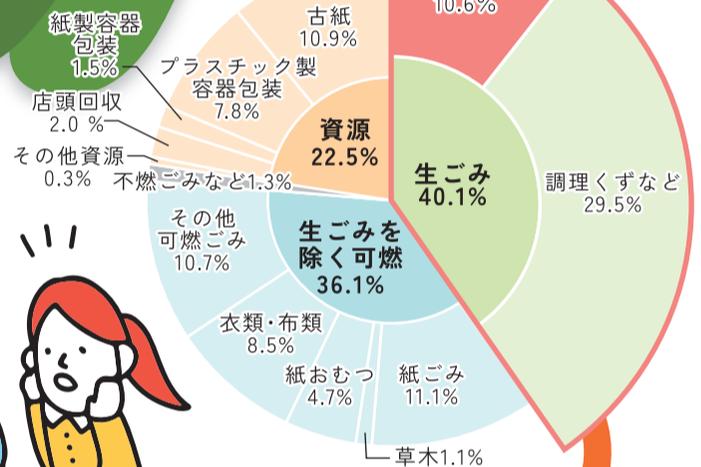
ある日のごみ袋を見てみましょう。ごみだと思っていたものの中にたくさんの資源があることがわかります。

仕分けしてみると...  
可燃ごみを  
出された  
ごみ集積場に



可燃ごみはこれだけ!  
こんなにもごみを減らすことができます!

正しい分別などについては、資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜」で簡単に調べることができます!



### 私でもできる プラス1アクション

ごみの減量に必要なことは、資源をきちんと分けることだけではありません。可燃ごみの約半数は生ごみであることを知っていますか。生ごみの手しぼりひと手間で、1人1日あたり最大**49.4**グラムのごみを減量できます。

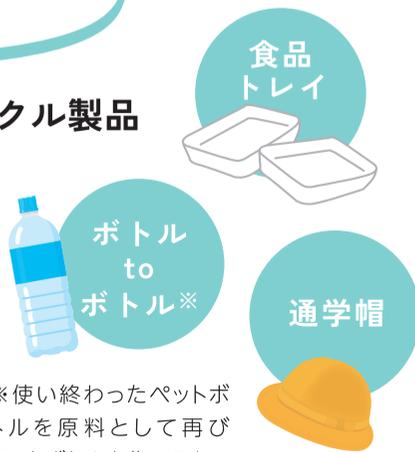


### 回収された 資源物のゆくえ

#### 私たちの身の回りにあるリサイクル製品

ペットボトルは、リサイクルによって身の回りのさまざまなものに生まれ変わります。中身が残ったままカビが生えたり、汚れているペットボトルは、リサイクルすることができません。「**軽くすすいで乾かす**」このちょっとした行動がリサイクルにつながります。

ペットボトルが原料となった製品

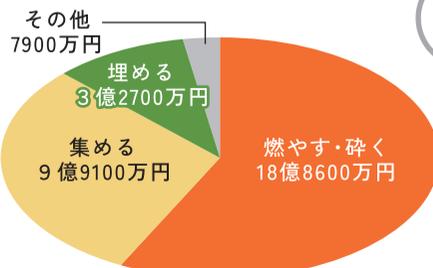


※使い終わったペットボトルを原料として再びペットボトルを作ること

### 資源は巡り私たちのまちへ

ごみ集積場に出されたスチール缶やアルミ缶、古紙類は売り払われ、市の歳入となります。令和4年度実績は約**9400**万円。家庭から出た資源は巡り、市のごみ収集や焼却などに役立てられています。

【ごみ処理にかかる費用の内訳】  
合計：**32億8300万円**



こんなに  
たくさんのお金がかかる  
事業なんだね





# じぶんごとで取り組もう！ シーン別ごみ減量アクション



## Action! お家で！ 分別は面倒じゃない！

分別したくなるアイデアやアイテムを取り入れて、ラクしませんか？

シンクに放置で解決！

納豆パックや弁当の容器などは、水にさらしておくだけで汚れが取れやすくなります。



簡単にヌメリがとれます！

袋をかけるだけで分別！

袋をかけるタイプの分別スタンドなら、省スペースで手軽に定位置を作って分別できます。



資源がリサイクルできるのはみんなの分別のおかげだね！



ごみ減量・リサイクルシンボルキャラクター めぐるちゃん

## Action! お店で！ 地球に優しいお買い物

てまえどり

購入してすぐに食べるなら、商品棚の手前から選ぶ「てまえどり」を意識して、販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを減らしましょう。

脱プラスチック

海洋汚染の原因でもある使い捨てプラスチック製品の利用を減らすライフスタイルが「脱プラ」。スプーンなどの不要なプラスチック製品を受け取らない、詰め替え製品を選ぶといった行動です。調味料容器には、紙パックに入ったサラダ油、缶に入った粉末のわさびもあります。身近なものから、意識して他の素材を選んでみませんか。

エシカル消費

「エシカル消費」とは、人・社会・環境に配慮した消費行動のこと。価格や品質だけでなく、どのように作られたかなどを考えて選ぶことです。リサイクル製品の購入のほか、例えば地産地消も、輸送距離を減らすことで二酸化炭素の排出を抑制できるので、環境にやさしい消費のひとつです。

## Action! 家族と一緒に！ 探そうリサイクルマーク

大人も子どももマークを見ながら一緒に分別しませんか？

PET PETボトル	プラスチック製 容器包装	アルミ缶	スチール缶
紙パック マーク	紙製容器包装	リチウム 二次電池	

詳しくは、環境ラベル等データベース（環境省）へ

## Action! 仲間と一緒に！ スポGOMI

ごみ拾いとスポーツが融合した日本発祥のスポーツ「スポGOMI」が岩手でも開催されました。スポーツとして楽しみながらごみを探して拾う体験も、ごみの減量などについて考える入り口の一つです。



岩手県大会の様子

スポGOMI  
について  
詳しくはこちら



## Action! 地域と一緒に！ 資源集団回収

西青山三丁目町内会の事例▶▶▶

町内会の2人に話を聞きました！



西青山三丁目町内会  
まさゆき  
遠藤政幸 会長

きれいなまち推進員  
ひさのぶ  
澤回久信 さん

「捨てればごみ、生かせば資源」という理念のもと、資源集団回収に地道に取り組んできました。以前は子ども会や老人クラブなどの単位で行っていましたが、町内会全体で毎月1回取り組むことで、多くの人に参加するようになりました。補助金を活用してストックヤードを設置したことで、回収量も増えました。

こうした取り組みが、年間約150万円（資源の買い取り額と市の報奨金）の収益につながり、公民館の建設や備品購入、町内会活動や災害への備えなど、地域のために役立てられています。

効果が実感できることで皆さんのリサイクル意識が高まり、幅広い世代の参加により地域の活性化にもつながっています。

資源集団回収報奨金やストックヤード設置の補助金などについてはこちら▶

